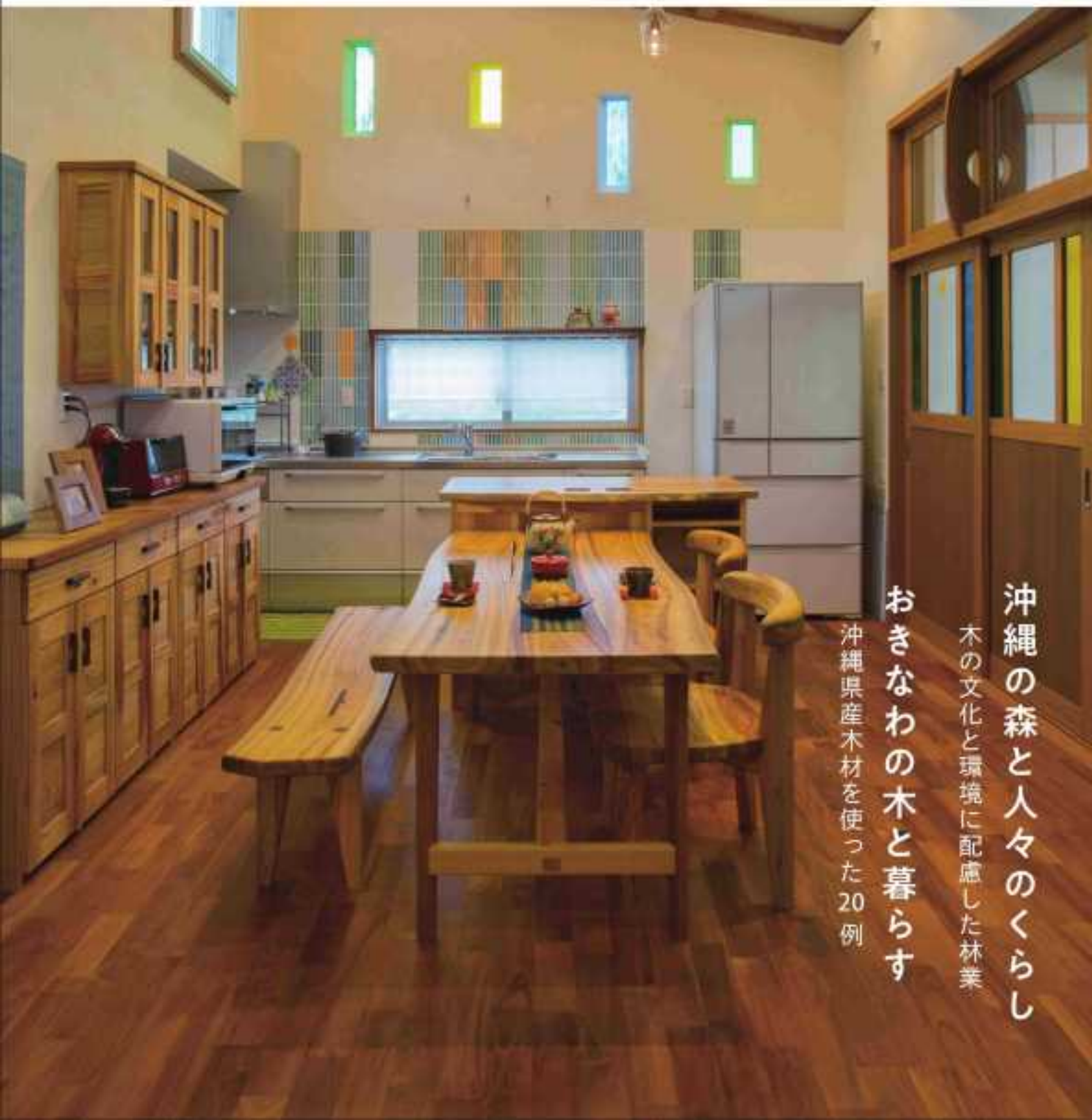


豊かな森と木のあるくらしの情報誌

# おきなわの木

木のある  
くらし編  
改訂版



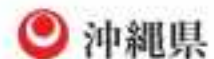
沖縄の森と人々のくらし  
木の文化と環境に配慮した林業  
おきなわの木と暮らす  
沖縄県産木材を使った20例



おきなわの木  
OKINAWAN WOOD

## 沖縄の森を知る

森には、水源を育て、災害や地球温暖化を防止するなど多くの働きがあります。人々を守り、潤いと安らぎを提供する沖縄の森を大切に守りましょう。



沖縄県

農林水産部 森林管理課

## 沖縄・森からのメッセージ

沖縄にも豊かな森があります。  
亜熱帯海洋性気候の島には、  
海からの風が吹き渡り、太陽の日差しが注ぎます。  
一年を通して雨も多く、夏は台風がたびたびやってきます。  
亜熱帯の森は、希少な生物たちの住み処であるとともに、  
大昔から人々の暮らしを支え、  
文化を育む大切な場所でもありました。  
沖縄の森に親しみ、多くの人に好きになってもらいたい。  
森で育つ木々たちの魅力ややさしさに触れて、  
森を大切に思ってもらいたい。  
森と人とのよりよい関係が作られていきますように。  
これからも暮らしのそばに  
森や木々たちがいつもありますように。

### 沖縄・森からのメッセージ ..... 2

### 沖縄の森を未来へつなぐ ..... 4

「やんばるの森」とは  
「守る」と「活かす」  
持続可能な豊かな森へ

### 沖縄の木々・主な県産木材 ..... 6

リュウキユウマツ  
センダン  
クスノキ  
イタジイ  
イジュ  
アカギ  
イヌマキ

### おきなわの木と暮らす ..... 8

屋嘉比さん宅（八重瀬町）  
中地さん宅（沖縄市）  
土い夢OKINAWA 沖縄やちむん×カフェ（糸満市）  
楽園C.A.F.E.（那覇市）  
久米島空港コワーキングカフェ 風人（久米島町）

JIROCHO 酒一家（那覇市）

国頭村・「木育」の取り組み

いずみのもり保育園（那覇市）

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ（恩納村）

光の子幼稚園（那覇市）

東村立保育所（東村）

もりのなかま保育園 宮里園（沖縄市）

スターバックスコーヒー 沖縄本部町店（本部町）

無印良品 那覇メインプレイス（那覇市）

### みんなのスポットでもおきなわの木 ..... 18

沖縄県立図書館（那覇市）  
那覇空港ふくぎホール（那覇市）  
石垣市役所 新庁舎（石垣市）  
国頭村役場（国頭村）  
GINOZA FARM LAB（宜野座村）  
おきなわの木 休憩スペースイオンモール沖縄ライカム（北中城村）

木の家具のお手入れ①②③

### おきなわの木マメ知識 ..... 22

### おきなわの木でつくるリスト ..... 24

### おきなわの木と会えるイベント ..... 26

「やんばる型森林業」  
森林の利用区分



森林の役割

- CO2 を吸収して地球温暖化を防止
- 豊かな水を育みながら洪水や土砂災害を防止
- 生物多様性の保全に貢献



「守る」エリアと「活かす」エリアを区分けしています。その上で、バランスよく木を伐り、利用し、新たに目を結ぶ。そうすることで、未来へつなぐ森林の持続的なサイクルが保たれます。

持続可能な豊かな森へ

生物多様性を感じる豊かなやんばる地域の自然環境は、世界的にも貴重なものである一方、地域の人々の暮らしや文化と密接な関わりを持って、維持継承されてきました。この自然環境を適切に保全していくためには、保護するだけでなく、自然環境の特性に応じて持続可能な利用を図ることが不可欠です。

2021年7月には「やんばる型森林業」の森林利用区分における「自然環境保全区域」の一部が、世界自然遺産に登録されています。

森林の適切な保全と賢い利活用の両立を図ること、山村地域の持続可能な



森林認証とは、適切に森林経営が行われている森林に対して、独立した第三者機関が、一定の基準に照らして評価・認証する制度です。適切に管理された森林及び林業事業者に対する森林管理認証（F M認証）と、認証材の加工・流通にかかる事業者（認証材と非認証材が混ざらないよう分別管理できる事業者）に対するCOC認証があります。



沖縄の森を未来へつなぐ

沖縄の森は、世界でも希少な亜熱帯の森です。沖縄本島北部に広がる「やんばるの森」は国立公園に指定され、世界自然遺産にも登録されています。貴重な生態系を守り、いじえから人々の暮らしと共にあった森であり続けるために、「守る」と「活かす」の両立が図られています。

「やんばるの森」とは

沖縄県は、南北約400キロ、東西約1000キロという広大な海域に点在する49の有人島と多数の無人島で構成されています。黒潮が流れる暖かい海に囲まれ、海洋の影響を強く受ける亜熱帯海洋性気候に属し、高温・多湿な地域であることが特徴です。

沖縄本島北部に広がる「やんばるの森」は乾燥地帯の多い亜熱帯性気候の中でも珍しい、温帯に特徴的な樹種と、熱帯に特徴的な樹種が共生した豊かな森です。

やんばる地域は、琉球王国時代から近年まで、薪炭や建物の建設、船などの用材となる林産物の生産・供給の場として重要な役割を果たしていました。昭和に入ると、沖縄本島中南部との間で「山原船」による交易が盛んに行われていました。

現在でも、沖縄の特徴的な多種多様な木材を供給する役割に加え、沖縄本島中南部への水資源の供給地としても重要な役割を担っています。

「守る」と「活かす」

「沖縄らしい優しい社会の構築」と「強くしなやかな自立型経済の構築」を基軸的な考えとする「沖縄21世紀ビジョン」。その実現を目指すための「基本方

向」や「基本施策」をまとめた「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の中で、森林・林業は、「1. 沖縄らしい自然と歴史・伝統、文化を大切に育む島を目指して」、「2. 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」、「3. 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して」の3体系で、自然環境の保全・再生・適正利用、防災体制の強化、亜熱帯性気候や島しょ性を生かした農林水産業の振興と基盤整備などに取り組んでいくこととしています。

やんばる三村（国頭村・大宜味村・東村）の森林については、自然環境の保全と環境に配慮した利活用の両立を図ることを目的に「やんばる型森林業」を推進しています。

2万7161ヘクタールに及ぶやんばるの森全体を、「守るべき区域」と「活かすべき区域」にエリアを分け、森林の多面的機能を発揮できるようにしています。

「活かすべき区域」では、高性能な林業機械の導入等により現地に適した収穫方法の確立や技術者の育成を行い、木の生育状態や市場の需要などに合わせて木を収穫し、そのあとに苗を植林して森の更新を図る持続可能な循環型の利用を行っています。



振興を実現することがやんばる地域に課せられた大きな宿命といえます。

そこで沖縄県では、「やんばる型森林業」の更なる飛躍に向けて、国頭村、東村、名護市にまたがる県営林において、森林の持つ様々な恩恵を十分に発揮させ、持続可能な森林経営を推進するための世界的取り組みの一つである「森林認証（F M認証）」を取得しました。

古くから県内の主要な木材の産地であり、人々の生活に貴重な恵みを与え続けてきたやんばるの森を、適切に保全し、持続可能な森林経営が実現できる森として、これからの守り、活用していきます。人々の暮らしと生態系とのよい関係を持続していける森を目指しています。

# 沖縄の木々・主な県産木材

亜熱帯海洋性気候の沖縄で育つ木々は個性派ぞろいです。多種多様な樹種の中から主に利用されている材について紹介します。

## イジュ (伊集)

ツバキ科 常緑高木(7-20m)  
方言名:イジュ  
分布:奄美、徳之島、沖永良部、  
沖縄諸島、富島(楨林)、石垣、西  
表、与那国  
用途:建築材、魚番など



沖縄の固有種で、枝の先に葉や花が集中して付く木です。うりずん(初夏)の頃、樹冠に真っ白な花を咲かせて山を飾ります。秋には、どんぐりのような2cmほどの実をつけます。琉球王朝時代には主要な建築材として利用されていました。



## イタジイ

ブナ科 常緑高木(10-25m)  
別名:スダジイ、オキナワジイ  
方言名:シジヤ、ツイギ  
分布:奄美群島～沖縄諸島、石  
垣、西表、与那国  
用途:建築材、器具材、薪炭材、  
土木用材、相模桐木



やんばるの森林の多くを占めています。やんばるの森が「ブロッコリーの森」と形容される素晴らしい景色をつくります。幹はノグチゲラやヤンバルテナガコガネなどの住みかにもなります。かつては薪炭材の原料として重宝されました。シロアリに強いので付加価値の高い活用が期待できます。オキナワジイとして分類することもあります。



## アカギ (赤木)

トウダイグサ科  
常緑高木(5-25m)  
方言名:アカン、アハギ、アカツギ  
分布:沖縄諸島～先島諸島、奄美  
群島や大東、小笠原で野生化  
用途:家具、農機具、工芸、小物類など



成長が早く、赤褐色の太い幹が特徴です。直径が1-1.5mにもなり、県内で最も大きくなる木のひとつとされています。首里金城町の大アカギ群は国の天然記念物に指定されています。材は、赤みのある褐色で、木目は目立ちません。色ムラがあまりないことも特徴です。



## イヌマキ (犬楨)

マキ科 常緑高木(3-20m)  
別名:マキ、クサマキ  
方言名:チャーギ、キヤージ、  
キヤーンギ  
分布:関東～先島諸島  
用途:建築材、家具材、器具材



経路異株で材はシロアリに強いので沖縄では古くから建築材として使用されてきました。首里城や中村家でも使用されています。チャーギの家は高級な家とされ、仏壇もチャーギで作られているものは最も高級なものとして扱われています。春に淡い黄色の花が咲き、夏から秋にかけて実をつけます。



沖縄ウッディフェア出展の  
木工家21人に  
聞きました!

## あなたが好きな「おきなわの木」は? Best 3

### 1位 リュウキュウマツ (9票)

【好きなどころ】木目の美しさ(全員)/名前に「琉球」が入っているところ/白くて明るい感じが好き/黒本などころ/ゆらぎに癒される

### 2位 クスノキ (7票)

【好きなどころ】香り/色/木目/加工のしやすさ/小物から大物まで使える守備範囲の広さ/手を加えれば加えるほど応えてくれるところ

### 3位 アカギ (4票)

【好きなどころ】色/ツヤ/堅さ/木目/個性があるところ

そのほかは、4位:センダン、ガジュマル、イタジイ  
7位:ユシギ、イジュ、タブノキ 10位:黒楡、カシ、チャーギ、  
オキナワウラジロガシ、相模樹、シークワーサー、ヤラブ

## クスノキ (榎)

クスノキ科  
常緑高木(10-25m)  
方言名:クスヌキ、クスヌチ  
分布:関東～南西諸島。本来の  
自生は九州～鹿児島といわれ、  
他は野生化。先島諸島で見られ  
るのは珍しい  
用途:建築材、器具材など



常緑広葉樹としては日本最大級の大木になります。葉や木全体からよい香りがします。沖縄では、樟腦の原料採取のため造林されました。葉の形や付き方から聲音を吸収する効果があるといわれ、街路樹にも利用されています。成長が早く、大きな材となり、建築材や造船材、家具材として利用されています。



## リュウキュウマツ (琉球松)

マツ科 常緑高木(10-25m)  
別名:リュウキュウアカマツ  
方言名:マチ、マーチ、マチギ  
分布:トカラ列島～先島諸島  
用途:家具材、内装材、支柱、板材



琉球産唯一のマツ科樹木で、南西諸島の固有種。耐風性、耐潮性、耐乾燥性ともに優れ、環境の適応性と美しい樹姿から都市の緑化植物としても利用されています。沖縄全島にわたって広く分布し、生育していることなどから昭和47年10月に沖縄の代表的な樹木として県木に指定されました。材は帯黄褐色で樹脂を含んでいます。木目は美しく光沢があります。



## センダン (栴檀)

センダン科 落葉高木(10-20m)  
別名:アウチ  
方言名:シンダン、シンダンギー  
分布:関東～先島諸島、小笠原(本  
家の自生は四国・九州以南といわ  
れる)  
用途:家具材、器具材など



沖縄の広葉樹のなかでも成長の早い木の一つです。3月頃に薄紫の花をつけ、夏にはクマゼミが多く集まる木として知られています。軽くて耐久性が強い材です。昔は女の子が生まれると庭にセンダンを植え、嫁入りが決まったら花嫁道具としてセンダンでダンスを作って持たせたそうです。



<参考文献>

『ネイチャーガイド 琉球の樹木 奄美・沖縄～八重山の亜熱帯植物図鑑』大川智史

# おきなわの木と暮らす

沖縄県産の木材を使った内装材や家具、遊具などがいろいろなシーンで利用されています。木のぬくもりで暮らしを豊かに、使う人のそばでやさしく寄り添う事例を紹介します。



沖縄の工芸に造詣が深く、アートや音楽など芸術全般が大好きだと話す中地さんが家を建てたのは十一年前のこと。住宅建築中に出会った木匠に、まず最初に依頼したのはダイニングテーブルセットでした。住宅の設計が進むうちに、玄関扉の製作も依頼。さらに工房で目にしたアカギの一枚板で作られた大きな座卓もリビングに加わるようになりました。

「当初はデザイナーズ家具の購入を検討していましたが、家の雰囲気によりマッチする沖縄の木の家具を選びました」と話す中地さん。

ご夫婦で集めた沖縄の工芸品やアート作品を生かせる空間づくりをテーマに家づくりを行い、その空間にふさわしい家具として、丁寧なつくりの木の家具を選びました。

住宅完成後も三人の娘さんたちの成長に合わせて学習机が一台ずつ増え、壁に飾る絵を購入するたびに、絵の雰囲気

## 時のなかで魅力増す楽しみ

## 中地さん宅（沖縄市）

制作/工房 島安木

合わせた額を制作してもらうなど、住み始めて十一年間で、住まいの中に沖縄の木で作ったものが少しずつ増えていきました。

「いつも通う場所や本物の木に触れられる喜びがあります。娘たちも良いものが身近にあることを感じながら育っているようにうれしい。」

新築当初から中地家のLDKに置かれたダイニングテーブルとイス、大きな座卓は、それぞれしっかりと調いを含んだようなツヤがあり、滑らかな手触りです。「使っているうちにツヤが出て、いい手触りになりました。メンテナンスといえるのは毎日の拭き程度。木肌の色の変化や、木目がよりきれいに浮き出てきたり、経年変化を楽しんでいます。」

家族とともに過ごす時間の中で、木の家具も美しく変化していきます。愛着や思い出といった家族の価値も溜り、さらに魅力的な家具になりました。

## 家族とともに暮らす木の家具

### 屋嘉比さん宅（八重瀬町）

制作/工房 地球のかけら



1. ダイニングスペースには、テーブルやカウンター、収納棚を置きました

八重瀬町のサトウキビ畑が広がるのかな場所に住つ屋嘉比さん宅は、3000坪に完成しました。玄関収納やダイニングスペースのテーブル、カウンター、収納棚をはじめ、リビングに置かれた茶器収納庫、相室の書棚、トイレの収納棚、玄関用イスなど、いろいろな用途の家具を沖縄県産木材で制作しました。建物の躯体がコンクリート造で屋根が木造になった結構造の住宅。室内の壁はしっかりと仕上げ、室内全体の柔らかい雰囲気に木のぬくもりがマッチした住宅です。

「室内は自然のものを使って仕上げたかったです。家が完成する前に家具をオーダー。どの場所に置くのか、どんな



ように使うのかなど要望を伝え、自由に作っていただきました。」

すっかりした作りと、木目の美しさ、室内に漂う木の香りがとても気に入っていると話す屋嘉比さん。

「家の完成が近づいた頃に家具を考え始めました。オーダー家具は高いというイメージを持っていましたが、量販店で気に入ったものを探すと、やはりおなじような金額になってしまいました。それなら、家のスペースや自分たちのサイズに合わせてものを作ってもらおう方がいいと考えました。細かいところにも配慮が行き届いていて、使い込むうちに良さを実感していくようです。」

新しい住宅で屋嘉比さん家族の暮らしに寄り添う木の家具です。



2. リビングには、趣味のギターを納める楽器収納庫が置かれています（写真中央）。3. 玄関収納には、靴や室内用スリッパだけでなく、インターネット回線の設備なども収められ、すっきりと片付いています。4. 玄関用イスは靴の着脱をサポート。5. トイレの壁面に寄り付けた収納棚



1. 中地さん宅のLDK。木造屋根の構造が見える高さのある空間はギャラリーのようでもあります。2. 玄関扉はどっしりとした佇まいです。3. 娘さんたちのために1台ずつ作られた学習机。天板中央に引き出しが付いています。4. アカギの一枚板を使った大きな座卓。「沖縄の木の中でアカギがお気に入り」という中地さん。座卓のほかにもアカギの家具が多くあります

### 木の家具のお手入れ①

#### 毎日使うこと&から拭きでOK!

木の家具をいつまでもきれいに使い続けるには、毎日使うことが一番です。特別なメンテナンスが必要なのは？と思っっている人もいるかもしれませんが、木の家具の日常的なお手入れは、一般的な拭き掃除と同じ、から拭きや、水拭きしっかり拭きあげが基本です。

加えて年に一度程度、油分を塗りこんでケアを行うこともおススメです。その際は、ツバキ油などの不乾性油という種類のオイルを乾いた布に少しずつ塗り込ませて、塗り込みます。

そうして拭きこんでいくうちに、木肌の色も変化していきます。購入時とは違う輝きになり、使う楽しみが増していきます。



## 木を楽しむ 店舗デザインと家具

JIROCHO 酒一家 (那覇市)

制作: 株式会社 フルーム+JUNGLE STUDIO



1. 約8坪のスペースの店内。家具や内装に木が使われています。2. 店舗の外観。木を使ったデザインが目を引きます

国際通り近くにある店舗は目を引く木の外装。木の扉を開くと、小さな店内に客席がざっと詰まっている印象です。地元客をはじめ観光客にも人気の居場所です。

「沖縄らしさを意識して、沖縄の木をふんだんに使った店づくりをしました」と話すオーナーの大石玲さん。友人である家具の制作者が店舗デザインを担当。

「国際通り近くにある店舗は目を引く木の外装。木の扉を開くと、小さな店内に客席がざっと詰まっている印象です。地元客をはじめ観光客にも人気の居場所です。」

「沖縄らしさを意識して、沖縄の木をふんだんに使った店づくりをしました」と話すオーナーの大石玲さん。友人である家具の制作者が店舗デザインを担当。



## 飛行機を木の家具で出迎え

久米島空港 コワーキングカフェ 風人 (久米島町)

制作: 五又松工房



3. やさしい雰囲気が伝わる丸いフォルムのイス。座り心地がよく人気です

2016年に久米島空港2階にオープンした coworking cafe「風人(かぜびと)」。

公衆無線LANサービスWi-Fiやコピー機などを備え、町民をはじめ久米島を訪れる観光客、ビジネスマンなどに利用され、離島者による飛行機を見ながら待ち時間を過ごすおしゃべりなカフェとして人気です。

「店内の家具を制作したのは久米島在住の木匠。座り心地のよい丸いフォルムのイスは、クスノキを使用したものです。テーブルの脚部にもクスノキが使用されています。」

飛行機に搭乗するお客さまだけでなく、飛行機好きも集まるというカフェスペースは、木のぬくもりで訪れる人を迎えます。



1. 店内のイスとテーブルの脚部にクスノキが使用されています。2. 窓際の客席では滑走路を離発着する飛行機が眺められます

## 木のぬくもりで居心地の良さを提供

土〜夢 OKINAWA

沖縄やちむん×カフェ (糸満市)

制作: まっくる居工房

糸満市の住宅街にある、ラシチと沖縄のやちむんのカフェで提供するコーヒーが人気のカフェです。沖縄の工芸が大好きなオーナーの喜瀬文子さんが家族で営むカフェの店内は客席のテーブルとイスをはじめ、キッチンとホールの間に設置したカウンターや壁に飾られた花器など、店内のほとんどが沖縄の木で作られています。

「もともと住宅だった建物をカフェに改装するにあたって、家具の制作と改装工事もすべて依頼しました」と話す喜瀬さん。

家具には、クスノキやセシダン、リョウキウマツなど、いろいろな材が使われています。いろいろな形のイスがあり、テーブルの天板は木の形を生かしたデザインです。

「ゆったりとした時間が流れ、つい長居したくなるような雰囲気の内。多くのお客様に居心地の良さを提供しています。」



## おきなわの木と暮らす



1. 店内の客席は、沖縄の木の家具で作られたテーブルとイス。壁に飾られた花器なども木製です。2. カフェスペースの横には沖縄のやちむんのカップが並びます



## 地産地消で本物の良さを伝える

楽園C A F E デパートリウボウ2F (那覇市)

設計デザイン: 山竹 良寛志 制作: 大和産業・ゆりあ木工所

2018年10月にオープンした「楽園C A F E」は、都会の真ん中でありながら、大人のリゾート感あふれる落ち着いた店内です。モダンで洗練されたカフェ空間の中央には、20人が着座できるクスノキのロングテーブルが設置されています。

「沖縄のいいモノ、日本のいいモノ、世界のいいモノ、からだにいいモノ」をコンセプトに展開するなか、「沖縄のいいモノを強く発信していきたい」という思いから、店内設備に沖縄県産木材をふんだんに取り入れたと話す大和産業の山竹さん。

佐紀子さん(都立リウボウインダストリー楽園企画部長)。「県出身のデザイナーと設計を進めていく中で、県産木材を利用した設備をご提案いただきました。お客様にも手触りを楽しんでいただければ、本物の良さを伝えられるいいモノに仕上がりました。」

「楽園C A F E」を象徴するロングテーブルのほか、4人掛けテーブルやイスにも県産木材が使用されています。

「県産木材の種類が多いことに驚きました。地産地消といわれるように、地元のもの身近に利用することができたことは県民として誇らしい思いです。」



1, 2. 中央にあるクスノキのロングテーブルは約7m。いろいろな人が同じテーブルを囲むイメージでデザインされました。イスはイタリアンクスノキが使用されています

## 木の家具のお手入れ②

### ◆ 天板にできたシミ 落としてキレイに

テーブルの天板にはいろいろなものがのせられます。木のテーブルを使用するときに注意したいのが、温度に熱いものや着色の原因になるような物は直接置かないようにすることです。特に無垢材のテーブルはシミになりやすく、シミが付いてしまうと、拭いただけでは落ちません。

無垢材のテーブルにシミが付いてしまった場合、軽いシミならきれいな布などで表面の汚れを取り、目の細かいサンドペーパーで磨きこすりします。このとき、必ず木目を沿って行いましょう。

シミが取れたら、ワキ油やアクリル油などのオイルを布に染み込ませて塗りこむとよいです。いつの手にかかってもしまったカップのシミにも効果的です。



ウラジロエノキで作られた学童机とイス。上下に分かれたパーツをネジで固定しています。成長に合わせて高さを調整することができます

### 入学前に学習、机を親子で組み立てる

国頭村内の小学校では、児童全員が木の学童机を使用しています。すべて県産のウラジロエノキを使用した学童机で、入学時に新一年生全員に村から贈られるものです。

国頭小学校教頭の新城雄二郎先生は、「新一年生は、入学式の前日に、机ができるまでの流れを学び、親子で机を組み立てます。『親子学習机の組み立て体験』で、国頭小学校と国頭小の体育館で毎年交互に開催しています。」

机の組み立て前には、ウラジロエノキの節の状態から、成長した大木を伐採後板材にし、机になっていく過程が紹介されます。地元の人たちが大切に育てた木で、丁寧に手作りされた物であることが伝わり、地域愛にもつながっていると新城先生は話します。この机とイスは6年間使用しています。



## 地元の木材を活用する「木育」木に親しんで森を理解

国頭村・国頭村森林組合

### 「材料の無駄を省いて丁寧に作られています」

国頭村の学童机は、初代の制作者が材の無駄を極力省いた制作を心がけてきました。現在は2代目の制作者が、初代制作者の思いを引き継ぎ、新しい机を制作したり修理を受けています。

ウラジロエノキの材を使用した学童机は、6年間使用した後、学校に寄付されるものもあるとか。現在は新しいものを年間20台ほど制作し、寄付されたものと合わせて学校で大切に使用されています。



### 学習机を次世代へ

用し、卒業時にはそれぞれで持ち帰ることが出来ます。ずっと使い続けるため、子供たちは物を大切にしようになるのだそうです。

「物を大切にすることが育まれることはもちろんですが、地域の木で地域の人が作った物を使う、地域に支えられている、その良さを感じて育ってほしい」と新城先生は話します。

「木育」とは、すべての人が木と触れ合い、木に学び、木と生きる取り組みです。国頭村と国頭村森林組合が行う、人と木、人と森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む取り組み「木育」について紹介します。

### 国頭村の「ウッドスタート宣言」

「ウッドスタート」とは、2010年に東京おもちゃ美術館で始まった子育てに地元材の木材を積極的に活用しようとする「木育」推進の取り組みです。国頭村は、2013年「やんばる森のおもちゃ美術館」の開館に伴い、「ウッドスタート宣言」を行いました。

村では、2013年から村内の小学校で地元材の木で作られた学童机を使用する「新一年生の木机・腰掛け事業」を行っています。ウッズスタート宣言を行ったことで、村内で誕生した赤ちゃんに木材で作った玩具を贈る「誕生祝い品事業」では、リュウキュウマツで作った「やんばるくいの積み木」をプレゼントしています。

山城弘輝さん（国頭村役場経済



国頭村内で誕生した赤ちゃんに贈呈されるリュウキュウマツで作られた「やんばるくいの積み木」。依頼すればお子さんの名前と生年月日を入れることもできます

### やんばる森の「木育」キャラバン

国頭村森林公園内にある「やんばる森のおもちゃ美術館」は、2013年にオープンした体験型ミュージアムです。やんばるの森の魅力伝えるため、津軽粘産の木材で作られた館内には、やんばるの材を生かした二十種類以上の木のおもちゃで遊ぶことができます。国頭村では、おもちゃ美術館の魅力により多くの人に体験してもらおうと、「木育キャラバン」を展開。おもちゃの貸し出しと、移動型おもちゃ美術館を行っています。

おもちゃの貸し出し  
本館各館へ出張開催

貸し出したおもちゃを使ったプレイコーナーを設置しておもちゃコンサルトの案内で多くの人に楽しんでもらうことが可能。移動型おもちゃ美術館では、津軽本島内の保育園や幼稚園などへ出張しています。毎年、本島北部で開催されるダム祭りや木間道イベント会場へも出張開催しています。見かけたらぜひ遊んでみてください。



「やんばる森のおもちゃ美術館」内観。木の香りが漂う空間です

子供の頃から木がそばにある環境づくりを行うことで、自然を大切にすることが育まれる。環境を守り、木の良さを文化を伝え、村の産業の活性化にもつなげる。国頭村が進める「木育」にはそうした目標があります。今後はさらに、やんばるの森に生息する希少生物の保全と木育を結びつけた活動を行っていきたくとしています。

「国頭村では、木育を通して、林業への正しい理解を広めたいと考えています。森を健全に保つには、木を大切にすることが必要です。木を大切にすることが、森を守り、林業への理解にもつながると考えています。」

やんばるの森林は、戦後の沖川の復興に活用されました。現在も、林業は国頭村の重要な産業であり、木材の取壊とともに、積極的な植林活動が行われています。2016年にやんばるの建設と海城を併せた1万6300ヘクタールが国立公園に指定され、2021年には世界自然遺産へ登録されました。そうした中で、環境保全の声が高まるにつれ、やんばるの森での林業への正しい理解が必要とされています。

木育キャラバンの様子。各地の保育園や幼稚園へ出張。ダム祭りや木間道イベント会場での出張開催も行っています

お問い合わせ先 国頭村役場 経済課

TEL0980-41-2122 FAX0980-41-5910  
担当：山城 yamashihiro@vill.kunigami.lg.jp

## 絵本と木の本棚 木を身近に感じる場に

学校法人 百里バプテスト学園  
光の子幼稚園 (那覇市)

制作: 工芸 地球のかげら

那覇市百里山川町の光の子幼稚園では、2017年に県が実施した「私立幼稚園読書環境整備事業」の補助を受けて新しい絵本と、絵本や紙しばいを収納する本棚を購入しました。県産木材で制作された本棚には、絵本三百冊以上と、これまで倉庫にしまわれていた紙芝居がすべて納まりました。

「本棚が囲いたばかりの頃、木の香りでいっぱいになり子どもたちも大喜びでした。子供たちには本物の木に触れさせたいと考えているので、本当に良かったです」と石嶺英子先生。引き出しに紙しばいが収納できるようになり、活用しやすくなったと喜びます。自由遊びの時間になると本棚のそばに子供たちが集まり、絵本を広げるようになりました。

「同じ太陽を浴びて大きく育った木でできている、本棚もみんなと同じ仲間なんだよと話しています。木を身近に感じて大きく育ってほしいですね。」



1. 2. 教室と職員室の間にあるプレイルームに設置された本棚。上段と下段が分かれるセパレート型の本棚です。3. 下段の引き出しには紙しばいを収納。4. 扉にデザインされたフクロウは子供たちに人気です

1. 保育園入口に設置された木がけスペース。本物の木の幹に造花の枝葉をつけて木を感じるスペースにしました。2. 保育園内のほぼ中央に設置した木のたまごプール。子供たちには自然の物に触れさせたいという考えから設置しました。木の香りが園内に広がります。



木のたまご制作: 国産材高村組合

## 都会の保育園で発揮する自然の力

(公社) 沖縄県労働者福祉基金協会  
いずみのもり保育園 (那覇市)

「以前はオフィスとして使われていた場所なので、保育園として機能させるには難しい場所でした。園児たちを遊ばせる園庭もありませんが、木のたまごプールが十分でない環境を補ってあげたいです」と話すのは園長の前盛悦美さん。

0歳から2歳までの園児33人を預かる保育園では、広い室内を家具で仕切り、保育室をエリア分けしています。そのほぼ中央のスペースにリユウキウマツで作られたたまご三子輪が入った木のプールが設置されています。

「どんなに置いていたり置いていない子供でも、このプールに連れて来て座らせると、みんな穏やかにおとなしく絵本の読み聞かせを聞いてくれるようになるんです。それは大人も同じようです。お母さん方が迎えに来た時、ここにしばらく座っていると「癒された」と言って帰っていくんですよ。無機質な環境だからこそ、自然の物に触れる大切さと自然の物が持つ力を実感している保育園です。」



## おきなわの木と暮らす

那覇市泉崎にある「いずみのもり保育園」は、テナントビルの一階に開設した保育園です。園庭はビルやマンションが建ち並び、窓を開けると騒音が走る。車も人の通りも多い場所にあります。

「以前はオフィスとして使われていた場所なので、保育園として機能させるには難しい場所でした。園児たちを遊ばせる園庭もありませんが、木のたまごプールが十分でない環境を補ってあげたいです」と話すのは園長の前盛悦美さん。

0歳から2歳までの園児33人を預かる保育園では、広い室内を家具で仕切り、保育室をエリア分けしています。そのほぼ中央のスペースにリユウキウマツで作られたたまご三子輪が入った木のプールが設置されています。

## 保育室の内装材として利用

東村立保育所 (東村) 設計: 株式会社 樹古設計

2011年度に開設された東村立保育所は、木造で建築された村内で唯一の保育所です。建物の内装材に沖縄県産木材が用いられています。

玄関ホールにはリユウキウマツの壁材、廊下の壁にはイジュの壁材が使われています。壁には使用されている木の名前を書いたシールが貼られており、ひと目でわかるようにしています。

園長の大庭和枝先生は「以前はコンクリート造の建物でした。木造の建物になり、沖縄県産の木材もふんだんに使用されていて、いい建物だと



1. 保育所内の遊戯室。壁面にイジュの木が用いられています。2. 玄関ホールの壁面にはリユウキウマツが用いられています。3. 東村立保育所外観



## 沖縄の木文化と遊びで5感を覚ます

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ (恩納村)

恩納村の豊かな自然に囲まれた癒しの空間を提供する沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパでは、2017年に開業三十周年を迎えたことを機に「かりゆしワンダーランド」と新たにテーマを定め、沖縄の自然を五感で感じるホテルづくりに取り組んでいます。

ホテル1階に設けられたキッズスペース「ワンダールーム」もその一環。沖縄の木文化と遊びを通して五感を呼び覚まし、ホテル周辺の自然を楽しむための入り口となるワンダールームでは、リユウキウマツで作られた木のたまご五種類の沖縄県産木で作られた積み木が設置され



1. ホテル1階「ワンダールーム」。沖縄県産木を使った木のたまごプールと積み木が設置されています。2. ワンダールーム入り口。3. 5種類の沖縄県産木で作られた積み木。木の違いがわかります





1, 3. 使用されている県産木材は、リュウキュウマツをメインにイスノキ、ウスノキ、ソウシジユ、イタジイ、ハマセンダン、イジユ。異なる種類の木を組み合わせることでコントラストを生んでいます。2. 画の中は県産材に限らずできるだけ木の素材を取り入れている様子



## おきなわの木が生きる力を育む

もりのなかま保育園 宮里園 (沖縄市)

制作 木工房 青嶋-SHUNGAN-

「木のおもちやだ」と全然中央が違ふんです」と園長は木のおもちの魅力について語ります。色味の異なる木を織りこめて見ても楽しめる仕様になっているのだとか。子ども達に身近な沖縄の木について伝えることができると嬉しく思います。

「木のおもちやだ」と全然中央が違ふんです」と園長は木のおもちの魅力について語ります。色味の異なる木を織りこめて見ても楽しめる仕様になっているのだとか。子ども達に身近な沖縄の木について伝えることができると嬉しく思います。

もりのなかま保育園宮里園では「生きる力を育む」を理念に掲げています。「おまごとは、回したり押ししたり引いたりする基本動作を、生活を模倣することで学べる遊びなんです」と話す園長。県産木材をふんだんに使ったオーダーメイドのおまごごとセット(写真)は、子ども達の目の高さに合わせたサイズ、角も丸く取るなど、保育園ならではの視点を取り入れてオーダー。注目してほしいのが、豊富な木のバリエーションとその動き。7種類の県産木材が使用され、蛇口やコンロなどは可動し、本格的なキッチンを模しているそうです。



1. 宮古島のイヌマキに囲まれた空間で、コーヒーを飲みながらくつろぎのひとときを過ごすことができます

## 間伐材をそのままデザインに活用

無印良品 那覇メインプレイス (那覇市)

2021年12月にオープンした「無印良品那覇メインプレイス」には、沖縄県産木材がふんだんに活用されています。まず注目して欲しいのが、店舗エントランスに「ヒンブン」のようにあしらわれたイヌマキ(チャージギ)。宜古島で間伐されたイヌマキを皮を剥いで無塗装のままで使用しています。年配のお客さんからは「立派なチャージだね」と声をかけられることも多いとか。

自然素材と金属素材を融合させた、無駄を省いたシンプルさが魅力です。店内を見渡すと、柱にはリュウキュウマツが使用されており、木のぬかみを感じられます。「リュウキュウマツは木目がダイナミックで、県民の方にも身近な素材です。経年変化も楽しめるため、数年後にはまた新しい表情を見せてくれると思います」と話すのは店長の國古哲也さん。無印良品の商品が沖縄の暮らしに溶け込み、調和が感じられる演出になっています。レジスベールの壁には清涼な香りと綺麗な木目が特徴的なクスノキが使用されています。

「無印良品は各地で地場素材を使っている店舗づくりを行なっています。今回はイヌマキ、リュウキュウマツ、クスノキの3種を沖縄独自の素材として採用しましたが、ポイントはいかに高機能なものではないという点。高級素材を使用している素材そのものの風合いや、背割にあるストリーパーに共感したものを使用しています」と中村さんは語ります。県産木材が無印良品のフィルターを通して、新たな価値を生んでいます。



2. 冷蔵庫をリュウキュウマツのラックで囲い、裏面は陳列棚になっています。1. レジ割の壁はクスノキを使用し、店舗エリアと変化をつけた空間になっています。4. コンセプトを提示したスペース。「使いさる、生かされる。」の言葉をみると間伐材活用に繋がるものがあります

## 宮古島のイヌマキ

イヌマキ(方言名)チャージギ。チャージギは沖縄県指定の産材木の一つで、琉球王国時代には、王府管理の御用木に指定され、社寺仏壇に使用されていた有用樹木です。防蟻・防蟻・加工性に優れている一方、成長がゆっくりで建築構造材に利用できるまでには、60年以上かかるかとされています。県内各地のイヌマキ林は「キオビエダシヤク」という病害虫により、枯れや生育不良等の厳しい状況にあります。そのため、文化財の修復や産元材の利用が期待されるものの、県産イヌマキ木材の入手は困難な状況です。宮古島のイヌマキ林では20年間、病害虫が発生しておらず、優良産地として、その将来性に期待が寄せられており、林材や間引き(間伐)、間伐材利用などの取り組みがはじまっています。



## 県産木材で「コーヒーゆんたく」を

スターバックスコーヒー 沖縄本部町店 (本部町)

店舗デザイン担当 中川拓真 (スターバックスコーヒー ジャパン株式会社 店舗設計部)

スターバックスコーヒー 沖縄本部町店は、地域の歴史や文化、産業など、魅力を伝える「リージョナルランドマークストア」に位置づけられる店舗です。入店すると琉球石灰岩のカウンターと共に、リュウキュウマツのテーブル(コミュニティテーブル)が目に入ります。「地域の魅力を表現するために、コンセプトを「コーヒーゆんたく」と設定し、メインであるコミュニティテーブルにリュウキュウマツを選びました」と話すのは、店舗デザイン担当の中川拓真さん。



1. 青い沖縄の空と海が楽しめる京割の席。観光客だけでなく地元客にも人気の空間とのこと  
2. 地元職人が手掛けたリュウキュウマツのテーブル(コミュニティテーブル)  
3. 沖縄らしいコンクリート建築。木や琉球石灰岩がアクセント

樹脂加工を施すことで強度を上げました。またリュウキュウマツは木目がはっきりしているため、キレイな木目を残しながら店舗にマッチするようダークな色で塗装も施しています」とこだわりをみせます。県産木材の新たな魅力を発見できる店舗にぜひ足を運んでみてください。

沖縄県立図書館 (那覇市) 制作:キハラ 株式会社

くつろぎの空間で読書を楽しむ

2018年、旭橋再開発事業区域に完成した「カブナ旭橋A街区」に同年12月、沖縄県立図書館がリニューアルオープンしました。3も階の図書館エリアの総面積は約1万3千平方メートル。旧図書館に比べ約3倍の蔵書が可能になりました。那覇バスターミナルや商業施設が併設された複合施設内に開館したことで、さらに利用者の増加が期待されています。

2018年、旭橋再開発事業区域に完成した「カブナ旭橋A街区」に同年12月、沖縄県立図書館がリニューアルオープンしました。3も階の図書館エリアの総面積は約1万3千平方メートル。旧図書館に比べ約3倍の蔵書が可能になりました。那覇バスターミナルや商業施設が併設された複合施設内に開館したことで、さらに利用者の増加が期待されています。



1. 県立図書館エントランス。各階に設けられたインフォメーション・サービスカウンターにリュウキウマツが使用されています。2. 読みみかせ室に設けられた木をかたどった絵本棚にも使用されています

那覇空港ふくぎホール (那覇市)

制作:工藤 島松木・GRAIN・うりぼろ・Intenan・宮古木工

音楽と木の温もりで憩いの場を魅力的に

2020年10月に、那覇空港国際エリア3階ふくぎホールの休憩スペースには、県内の木工作家が手がけたリュウキウマツのデザインングセットやベンチ、クスの木のベンチなどが設置されました。

空港利用者も沖縄の木の質感や暖かみを実感し、安らぎの時間を過ごしています。また、2021年4月には、だれでも弾ける三線やストリートピアノも設置されました。



1. 宮古木工が製作した三線を鳴らすと心地よい音がホールに響きます



2, 3. 県内の木工作家のチェアやベンチが空間に温もりをもたらしています



1. くつろぎが感じられるスペース。リュウキウマツの板材をつなぎ、幅や長さに変化をもたせたリズム感のあるデザイン。2. 本物の八重山上布がアクセント。諸島の背景にはリュウキウマツのパネルが設置されています。3. 平行に走るリュウキウマツのデザインは、幅がランダムになっているため空間にリズムが生まれています

石垣市役所 新庁舎 (石垣市)

設計: 藤原建築都市設計事務所・岩崎設計室 J.V

経年変化が歴史を刻んでいく

石垣市役所は「みんなが集う石垣市のランドマーク」をコンセプトに、旧石垣空港跡地に新庁舎を建設し、2021年11月から移転運用が始まりました。赤瓦と琉球石灰岩、そしてリュウキウマツが印象的な建物は、新しさよりもどこか懐かしい島の原風景のような佇まいになっています。

設計を担当したのは、国立競技場を手がけるなど世界的な建築家として有名な隈研吾氏の事務所です。「限さんは沖縄らしい建築資材にこだわっていました。特にリュウキウマツは内装のメインとして、ふんだんに使用しています」と案内してくれたのは石垣市役所の契約管理課、新庁舎建設課の佐川栄伸さん。赤瓦の屋根を滑ると、黒を基調とした壁にリュウキウマツが装飾されています。「リュウキウマツはもう少し床から離れていたんですが、床土約3cmくらいのところまで全て統一するなど



4. 5 幅かく木を縦り抜いてサインや文字が表現されています。6. リュウキウマツを塗装し、コントラストを加えた案内板。配属換えに対応できるように取り外しができる仕様になっています



## 国頭村役場 (国頭村)

設計 (株) 国建・(有) アカイ建築設計事務所・  
 (株) 大富建設コンサルタント設計業務共同企業体

### 村で生産された木の魅力を伝えていく

世界自然遺産にも登録された豊かな自然が残るやんばるにある国頭村。2021年1月に業務が開始された新庁舎にはリュウキュウマツをはじめ、イスノキ、イタジイ、イジュ、イヌマキ、センダンなどさまざまな木材が使用されています。国頭村役場の経済課・松本隆弘さんは「使用している木材の多くは村の中で生産・加工されたものです」と案内してくれました。役場に入ると、イヌ

マキの柱が目に入りま窓口の仕切りリュウキュウマツは、樹皮を剥すことで自然な風合いがさらに強調されています。福祉課の方ウインターは必見。以前台風で倒れてしまった樹齢200年以上にもなるリュウキュウマツを大切に保管し、新庁舎建設をきっかけに見事な一枚板の方ウインターに仕上げられています。「東庁舎の目に触れることで、地場産業である林業への関心が高まると嬉しいですね」と松本さん。良い素材ほど利用者の多い1階に使用しているそうです。



1. 議場の壁やデスクにはリュウキュウマツが丸だんに使用されています。2. エントランスにはイヌマキを柱とした案内板があります。これだけの高さのものは貴重とのこと。3. 樹齢200年を超える一枚板のリュウキュウマツのカウンター。東庁舎の目に止まるよう窓口に使用しています。

## 宜野座村観光拠点施設 道の駅ぎのざ

### COFFEE&BREAK GINOZA FARM LAB (宜野座村)

ギノザファームラボ  
 制作 (株) 株式会社・ブルーム+JUNGLE STUDIO

2018年4月にリニューアルオープンした「道の駅ぎのざ」は、宜野座村観光拠点施設です。新しく完成した建物2階にある「ギノザファームラボ」は、海を臨む展望スペースを備えたカフェレストラン。県産食材を使ったメニューが人気です。料理は木製トレーで提供。リュウキュウマツ、クスノキ、センダン、アカギ、イジュといった各種の木材が使われたオリジナルトレーです。カフェ開設にあたり、オーナーの石井雄一郎さんと制作者とで綿密に



1. 5種類の沖縄産産木で作られたトレー。形状や重さに配慮して開発されました



2. 店内中央に設置されたカウンター。クスノキで作られています。3. 「道の駅ぎのざ」外観

開発されました。「お客様にも評価で、購入を希望される方もいらっしゃるんです」。店内中央にあるカウンターも県産木材で制作されたものです。東海岸の新しいランドマークとして注目される同施設は、県内外から多く人が訪れる場所です。沖縄の食を世界に発信したいと夢を語るオーナーがつくる空間で、お客様をおもてなしします。



イオンモール  
 沖縄ライカム  
 常設展示

## “おきなわの木” 休憩スペースできました!

おきなわの木を使った家具を常設展示しながら、休憩できるスペースを設けました。リュウキュウマツやセンダン、クスノキなど、「おきなわの木」で作られた家具を見て、触れて、体感して下さい。あなたの暮らしの空間にも、「おきなわの木」を使った家具はいかがでしょう?

場所: イオンモール沖縄ライカム ※写真は2019年現在  
 制作: 株式会社・ブルーム、工屋 島文木、国頭村森林組合、企業組合、キンモク



### 木の家具のお手入れ③

### 木の家具これで キレイに長持ち

木の家具は木目の美しさや色の変化など、使い込むほどに味わいが出る良さがあります。長く使い続けられるよう、次のことに配慮することをおススメします。

#### ●設置場所について

家具は水平な場所に設置して下さい。家具を置く床などが傾いていると、家具にゆがみが生じ、破損の原因になります。直射日光に長時間さらされると変色や割れの原因になるので、避けましょう。

#### ●湿度・温度について

湿度が高いと木が膨張し、厚や引き出しの開閉がしにくくなります。高温多湿はカビやダニが発生する原因にもなります。湿度が低いと木が収縮し、割れや反りの原因にも、エアコンやヒーターなどは、直接家具に当てないようにしましょう。

木の家具には湿度40~60%くらいが良いとされています。天気の良い日には換気を行い、風通しを良くして下さい。定期的な換気を行うことが木の家具を良い状態に保つコツです。



本部町備瀬のフクギ並木

### 利用範囲の広いフクギは高機能！

本部町備瀬で見られる美しいフクギ並木。防風林として知られるフクギですが、利用範囲の広い役立つ木です。

フクギは生命力が強く、根を切っても根元から芽を出し再生します。成長すると、隣接する木どうしで根が合体し防災効果を発揮します。肉厚な葉は潮風害に強く、火災にあっても燃えにくいので、火事が起きても広がるのを防いでくれます。材は防虫のため一年ほど海底に埋めておくと、強度が増し、建築用材としても利用できるのだそう。幹の皮や葉からは黄色の染料が取れます。直根性で三角状の樹形で伸びていくため屋敷林としても育てやすく、なんと実も食べられるそうです。防災林として機能が高く、1771年に宮古・八重山地方を襲った「明和の大津波」でも多くのフクギが津波被害に耐え、残っていたのだそうです。

### リュウキュウマツの木目はいつできる？

リュウキュウマツの木目を見ると、クリーム色のような薄い色の部分とくっきりとした茶色の部分があります。色の薄い部分は、春から夏にかけて作られる木目で、茶色の部分は秋から冬にかけて作られる木目です。温暖な沖縄で育つ松である特徴が木目を見るだけでわかります。



リュウキュウマツの木目にもいろいろあります

### 世界でも珍しいやんばるの森



亜熱帯地域は、地球上で温暖指数（暖かさの指数）が180～240の間に分布するといわれ、熱帯の高緯度側の南・北緯20～30度の間の地域が含まれます。さらに、降水量によって湿潤気候と乾燥気候に分けられますが、森林が形成される湿潤なところは亜熱帯地域の1/3しかありません。海に囲まれた沖縄では、黒潮と季節風、台風が豊富な降水量をもたらす、森林が形成されています。やんばるの森は、絶妙なバランスの上に成り立っている世界的にも貴重な森です。

### 天然記念物たちが住む木



やんばるの森に多く育つイタジイは、秋になるとどんぐりの実をつける、動物たちにとってありがたい木です。天然記念物で沖縄県の県鳥、東村の村鳥であるノグチゲラやヤンバルテナガコガネたちの住みかでもあります。

### ガジュマルは歩く？！

大きく広がった枝からヒゲのような気根を垂らしているガジュマル。気根が成長して地面に到達すると、そこから水や養分を吸収します。もともとの根の部分の栄養が無くなると、気根だった部分が幹となり成長し続けます。そうすると、ガジュマルの木そのものの重心が少しずつ移っていくことになり、まるでガジュマルが歩いているように見えるというわけです。もちろん、長い年月をかけて移動するので、長い時間をかけた貴重な一歩といえるかもしれません。



# おきなわの木 マメ知識

おきなわの木にまつわるマメ知識をご紹介します！ぜひ森へ出かけて本物の木に触れて下さいね

### 日本で一番重い木、一番軽い木

沖縄県の県花「デイゴ」。春から初夏にかけて赤い花を咲かせる木です。木材は軟らかく削りやすいので漆器の木地に使用されています。デイゴは、日本で一番軽い木として知られています。一方、日本で一番重い木は「イスノキ」です。方言名「ユシギ」と呼ばれる木は、同じく赤い花を咲かせます。木材は家具や箸、木刀などに使われる堅い木でもあります。



日本で一番重い木と軽い木の両方が沖縄にあります。

### 伊勢神宮の神宝・太刀にもアカギが！

伊勢神宮の神宝の一つに赤木の柄の大刀「須我流横刀」があります。文武3（699）年に南島の人が伊勢神宮などの諸社に奉獻した例があり、こうした奉獻を機に南島のアカギが伝統的に使用されたのではとされています。式年遷宮のたびに、アカギの柄の大刀が作製されているようで、昭和4年の式年遷宮の際には、首里城下のアカギを伐採製材し奉獻した記録もあるそうです。



<参考文献>『熱帯と林政八書の世界』仲間勇策／『古代日本と南島の交流』山根純一／『やんばる地域の国立公園に関する基本的な考え方』環境省那覇自然環境事務所 <情報提供>やんばるの森おもちゃ美術館（国頭村）

### 巻物の軸にアカギが使われていた！



平安時代に編さんされた『新撰式』（平安時代の法令集）には、南島の「赤木」が大宰府から中央へ貢進されていたことが記されています。内蔵寮（天皇の宝物・日常用の物品・装束の調達と管理、米倉・物品倉庫の管理を行う）へ納められた後、内匠寮（宮中の調度の制作、装飾を行う）で軸に加工され、親王の位記軸として使用されたそうです。位記とは、位階を授けられる者に与えられる文書のことです。いわゆる巻物のこと。ほかにも、正倉院におさめられている経典などの軸にもアカギが使われているものがあるそうです。

**Pua melia** 大崎 政尚  
〒904-0328 読谷村字宇座 328-1 ☎070-5810-4292

**優濱家** 渡本 盛亮  
〒903-0815 那覇市首里全盛町 4-74-33

**秀暖〜SHUUDAN〜** プレグマン ドナルド  
〒904-2173 沖縄市比屋根 7-30-27 ☎090-3797-7112

## 木製品販売

**コザ工芸館 ふんどろ**  
〒904-0004 沖縄市中央 1-11-2 ☎098-934-2213

**沖縄工房家具 mokumoku**  
〒901-2223 宜野湾市大山 5-17-5 ☎098-897-5755

**東風平木工芸組合 木の工房 楽樹**  
〒901-0403 八重瀬町世名城 1569-2 ☎098-998-0078

**沖縄県ウッドクラフト事業協同組合**  
〒901-2133 浦添市城間2丁目 29-3 クロスロード AG201号 ☎098-877-8988

## 木材販売

**沖縄県森林組合連合会**  
〒901-1101 南風原町字大名 95-1 ☎098-888-0676

## 離島

### 家具

**五え松工房** 吉良 耕史郎  
〒901-3136 久米島町仲地 184-5 ☎090-1946-6960

**トマイ木工所** 戸島伊 豊  
〒907-0023 石垣市石垣 524-81 ☎0980-82-4362

**宮古木工芸** 与儀 昌樹  
〒906-0013 宮古島市平良下里 2616 ☎0980-73-3001

**有限会社 うえざと木工** 東上里 和広  
〒907-0073 石垣市字石垣 1838 ☎0980-83-3028

### 小物・食器・カトラリー

**むら工芸** 古村 茂  
〒907-0024 石垣市新川 56 ☎0980-83-4130

**イルカクラフト** 川原 輝久  
〒907-0023 石垣市字石垣 1396-2 ☎090-9787-2460

### アート

**studio ゆい** 小川 京子  
〒906-0013 宮古島市平良字下里 549 ☎0980-72-2582

### 木材販売

**宮古森林組合**  
〒906-0007 宮古島市平良字東仲末根 968-3  
宮古森林組合センター 2F ☎0980-73-8191

**八重山森林組合**  
〒907-0023 石垣市石垣 1396-2 ☎0980-82-4097

**晴工房** 比嘉 哲晴  
〒901-0205 豊見城市字横差部 228 番地 ☎090-3014-3986

**木工房 ひかり** 岩田 望美  
〒901-0403 八重瀬町世名城 1569-2 ☎098-998-0078

**ひつじ工芸舎** 永尾 陽祐  
〒901-0403 八重瀬町世名城 1569-2 ☎090-4299-9367

**平と米の制作所=平米** 平安山 なほみ・米須 美紀  
〒904-1113 うるま市石川山城 192 ☎080-3983-6461

**まっくる屋工房** 伊礼 聡・伊礼 聡雄  
〒901-0616 南城市玉城館川 419-1 ☎098-948-3379

**木好房** 富名藤 幹竹  
〒904-0034 沖縄市山内 2-4-18 ☎090-3795-1780

**壺) ヤマウチ** 山内 拓  
〒901-2202 宜野湾市普天間 Mail:mokkuyamauchi@gmail.com

**ゆりあ木工房** 西銘 圭吾  
〒901-0211 豊見城市鏡波 16-1 ☎090-3322-2961

### 小物・食器・カトラリー

**かねせん工房** 千木良 芳弘  
〒904-2165 沖縄市宜里 2 丁目 19-7 ☎098-938-7040

**木工家具 杉の** 杉野 義則  
〒901-0153 那覇市宇栄原 2-20-5 ☎098-858-2075

**知念パネル** 知念 義秀  
〒901-0336 糸満市真壁 1195-4 ☎090-7587-5732

**HAKO CRAFT** 田村 康治  
〒901-0403 八重瀬町世名城 1569-2 ☎098-998-0078

**村山工房** 村山 豊  
〒901-0604 南城市玉城字玉城 169-1 ☎098-948-3687

**もか工房** 眞部 信幸  
〒904-0113 北谷町字宮城 1-134 ☎090-6423-8580

**木工房 もり〜む** 盛根 理恵  
〒901-2223 宜野湾市大山 5-17-5 ☎098-897-5755

**ゆらりら工房** 金城 久美子  
〒904-0031 沖縄市上地 2-18-16 (アランフェス工区内) ☎098-932-3774

### 漆器・アクセサリ

**田里木器** 田里 友一郎  
〒901-0335 糸満市米須 147 ☎080-3187-3912

**Techura works** 高橋 哲平  
〒903-0802 那覇市首里大名町 ☎070-5276-8876

**工房 めりトン** 森田 哲也  
〒901-0516 八重瀬町字仲座 834-2 ☎098-998-0507

### 楽器・アート・玩具・その他

**工房・たまき** 玉城 正晶  
〒901-0362 糸満市真栄里 2046-3 ☎098-995-1322

**てるる詩の木工房** 高良 輝幸  
〒904-2232 うるま市川田 416-1 ☎098-974-1780

## 中南部

### 家具

**ABECRAFT** 阿部 誠司  
〒901-0611 南城市玉城富里 197-1 ☎090-1946-2333

**アランフェス工房** 湯久地 政幸  
〒904-0031 沖縄市上地 2-18-16 ☎098-932-3774

**Interior** 長袋 清成  
〒900-0003 那覇市安謝 1-1-12 2F/3F ☎050-1240-4059

**うりぼう** 瓜田 一  
〒901-1103 南風原町与那覇 142-2 3-3 ☎090-6859-6048

**WOODY はる房** 原良 朝治  
〒901-0615 南城市玉城館川 497-4 ☎098-948-3917

**おと木工** 杉山 允也  
〒901-0335 糸満市米須 147 ☎090-4855-3834

**カミダマサキ** 神田 優扶  
〒904-2223 うるま市具志川 Mail:bananaspd22@yahoo.co.jp

**家具工房 KAN** 石川 寛  
〒901-2102 浦添市前田 411-1 ☎098-879-1314

**木工房 木妖精 (きじむなま)** 外間 剛道  
〒903-0125 西原町上原 75-1

**木工房 木彫屋** 森長 武一  
〒901-0611 南城市玉城富里 91 ☎090-8292-9153

**GRAIN** 小橋川 剛右  
〒901-0416 八重瀬町字宜次 703-1 2F ☎098-998-1743

**くるんクラフト** 比嘉 繁伸  
〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-9-5 101 ☎090-8667-9834

**座安木工所** 座安 孝  
〒901-0153 那覇市宇栄原 5-11-2 ☎090-7585-4191

**JOY 工房** 上里 元  
〒901-0403 八重瀬町世名城 1569-2 ☎098-998-0078

**太平木工事業協同組合** 富里 晋作  
〒901-1101 南風原町字大名 95-2 ☎098-888-6437

**有限会社 大和産業** 大城 博  
〒901-0243 豊見城市上田 515-8 ☎098-856-2779

**工房 地球のかけら** 古沢知 敏  
〒901-0403 八重瀬町世名城 1569-2 ☎090-9782-7312

**TREE TAILOR** 玉城 泰  
〒901-0335 糸満市米須 147 ☎090-4471-4055

**テツモク** 豊田 修  
〒904-0033 沖縄市山内 Mail:tetumoku2010@yahoo.co.jp

**木工“丁”** 富山 清貴  
〒901-0335 糸満市米須 147

**桃原木** 桃原 司  
〒901-2203 宜野湾市野嶺 2-11-2 ☎090-3796-2850

**工房 島変木** 原立 政廣  
〒904-2143 沖縄市知花 5-24-7 ☎098-989-3103

## おきなわの木でつくるリスト

おきなわの木を使っている皆さんをご紹介します (五十音順)  
[2022年3月現在]

## 北部

### 家具

**社会福祉法人 いしなく福祉会**  
〒905-0006 名護市宇佐佐 804 番地 2 ☎0980-52-1479

**株式会社 ブルーム (JUNGLE STUDIO)** 相羽 余史穂  
〒905-0201 本部町具志堅 306 ☎0980-48-2729

**株式会社 ムネ木工所** 長瀬 崇彦  
〒905-0005 名護市高又 1219-278 ☎0980-54-3425

### 小物・食器・カトラリー

**工房 うるはし** 野木 仁  
〒901-2132 大宜味村喜如嘉 2130 ☎090-8857-0133

**Ota Craft** 大田 浩之  
〒905-1412 国頭村字奥間 1667-1 ☎090-1368-4115

**オサム工房** 金塚 修  
〒905-1303 大宜味村字喜如嘉 517 ☎0980-44-3378

**たま木工商店** 玉元 利幸  
〒905-1201 東村字高江 98-1 ☎090-3198-6899

**とと工房** 島袋 毅  
〒905-1427 国頭村字与那 139 ☎0980-43-9267

**木工房 樟** 山川 均  
〒905-1413 国頭村比地 730 ☎090-8294-7050

**洋屋** 野田 洋  
国頭村 ☎0980-43-0209

### アート・玩具・その他

**Horywood 工房** 大塚 美穂穂  
〒905-1155 名護市我部祖河 149-1 ☎0980-54-3308

**木彫・漆工芸 ゆん** 鎌次 幸子  
〒904-1201 金武町字金武 7906-3 ☎090-1947-3643

### 漆器

**木漆工とけし** 渡邊次 弘幸  
名護市 Mail:mail@tokeshi.jp

### 木製品販売

**山原工務店** 山上 晶子  
〒905-1415 国頭村村浜 521 ☎0980-41-3070

### 木材販売

**企業組合 キンモク**  
〒904-1201 金武町字金武 10392-4 ☎098-968-6767

**国頭村森林組合**  
〒905-1427 国頭村字与那 1258 ☎0980-41-5421

木のやさしさには、たくさんの効果があります。

### 実は“柔らかい”？、 木材ならではの性質

木材は、樹木が生きていたときにつくられたパイプ状の細胞の集合体。空隙の多い構造であるため、コンクリートと比べても衝撃を吸収しやすく、たわみ変形による衝撃緩和作用もあるといわれています。こうした性質を利用し、住宅のフローリングや、身体への衝撃の緩和が期待される体育館などの床にも多く使われています。

### 湿度を調節して 快適な空間をつくる

木には湿度が高くなると水分を吸収し、低くなると水分を放出して、室内の湿度を一定に保つ働きがあります。睡眠時の室内では、人の呼吸や汗によって湿度が上昇しますが、内装材に木材を用いた部屋では、季節にかかわらずビニルクロス壁紙の部屋よりも湿度の上昇が抑えられることが実験により分かっています。

### 木の香りで、心も体も リラックス

木の香りにはストレスをやわらげ、心と体をリラックスさせる働きがあります。香りが私たちの気分に影響を与えることは経験的に知られていますが、近年では血圧が下がるといった計測データに基づいた、リラックス状態の評価も進み、木の香りによるリラックス効果が明らかになってきました。一旦つきたいとき、木の香りでリフレッシュ、なんていかがでしょう。



※林野庁「明日にわたそう、森のパトン!」木づかいブックより

### 「おきなわの木」ホームページ開設!

沖縄県の木工家と、県産木材の地産地消を応援するサイトです!

県内外で開催される沖縄の木に関連するイベントの開催情報や、県産木材を取り扱っている事業者などを紹介しています。県産木材を使ってものづくりを行う作家さんたちを紹介するトピック記事、おきなわの樹木の紹介なども掲載しています。

「おきなわの木」を皆さんの暮らしの中でご利用下さい!

 **おきなわの木** で検索!   
<http://saion-wood.jp/wordpress/>



## おきなわの木に会えるイベント



### 🌿 沖縄ウッディフェア

県産木材のPRと、作り手の技術向上などを目的に毎年11月頃に開催されています。県内の木工房や各工芸工屋が多く集う木工関連イベントです。県産木材を使った木工家具や小物をはじめ、食器や漆工品など木関連製品が多く展示販売されます。ほかにも、出展者から提供された製品のチャリティオークション、木工体験コーナー、苗木の無料配布なども行われます。



- 沖縄本島中南部で毎年11月頃開催
- 開催期間：3日間
- 主催：沖縄ウッディフェア実行委員会



### 🌿 沖縄の産業まつり

毎年10月に、美武山公園・県立武道館を会場に、県産品を扱う企業などが一堂に会して展示販売を行う県内最大の総合産業展です。食品や農産物、工芸品、衣料品などの展示販売が行われるほか、新作・新技術の展示紹介なども行われています。各市町村の商工会の出展エリアもあり、毎年多くの来場者でにぎわいます。



- 那覇市・美武山公園、県立武道館で
- 毎年10月頃開催
- 開催期間：3日間
- 主催：沖縄の産業まつり実行委員会（公益社団法人沖縄県工業連合会内）



写真提供：沖縄観光コンベンションビューロー

### 🌿 おきなわ花と食のフェスティバル

「地産地消」をテーマに、新鮮で良質な沖縄の農林水産物・加工食品等を広く県民に紹介する「おきなわ花と食のフェスティバル」。消費者と生産者等との交流を通じて、関係団体、市町村、県等が一体となって実施しており、見て・食べて・体験できる催物が盛りだくさんです。



- 那覇市・美武山公園、県立武道館など
- 毎年1月頃開催
- 開催期間：2日間
- 主催：おきなわ花と食のフェスティバル推進本部

